

# 中山間地域の農の『支え手』人材を増やすプログラム開発 『WorkRice』『シェア・ファーム』

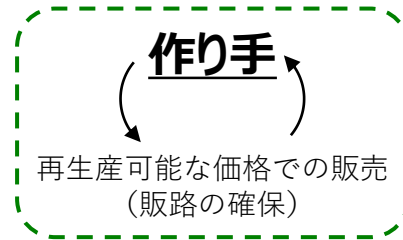
(公社)中越防災安全推進機構  
にいがたイナカレッジ

中山間地域農業を維持するために、これまでイナカレッジでは新規就農希望者を受け入れる『アグリパス』等の取組により『作り手』の育成に努めてきた。一方で道普請等の従来の共同作業に加え、近年では鳥獣害対策として電柵張り等の新たな作業が増え、集落自体の人口減少・高齢化が進む中で一人あたりの農地維持に関わる作業量が増大し、米農家だけで中山間地域の農業・農地を守ることが現実的に難しくなっている。このため、『作り手』を育成すると同時に、「作り手」をサポートする「支え手」（関係人口）を増やしていく仕組みとして、『Work Rice』『シェアファーム』の立ち上げを行う。

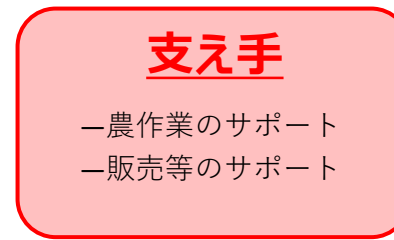
## 【目指す関係人口の姿】

### 「作り手」×「支え手」の両輪による中山間地域農業・農地の持続化

「作り手」と「支え手」の両輪による中山間地域の農業・農地の持続化に向けて、現在イナカレッジが実施している「作り手」の育成に向けた取組（アグリパス）に加え、本事業を通じて、もう一方の「支え手」確保に向けたプログラムを新たに立ち上げる。



アグリパス等既存のイナカレッジプログラムで対応



本事業を通じて「支え手」人材の育成の仕組みを構築

## 設定課題

- ① 中山間地域の農業の「支え手」となり得る人材の確保に向けた魅力的なプログラムづくり【集客】
- ② 機械化が進む稲作で、未経験者でも農家の作業軽減に寄与できる仕組みの確立【米農家の作業軽減】
- ③ 単なる農作業の手伝いにならないようにするための運用ポイントの検討【関係性の醸成】

## Work Rice

米農家の日常の作業をお手伝いし、そのお礼として農家が作ったお米を受け取るプログラム。

### 【作業内容】

- ・農作業のサポート：草刈り、肥料まき、稲刈り等
- ・クリエイティブ系のサポート：デザイン、ライティング、動画制作等
- 「労働」と「お米」の交換という仕組み、農作業だけでなくクリエイティブ系の仕事を加えることでのプログラムの魅力づくり
- 未経験者でも農家の作業軽減に寄与できる仕組みづくりなど



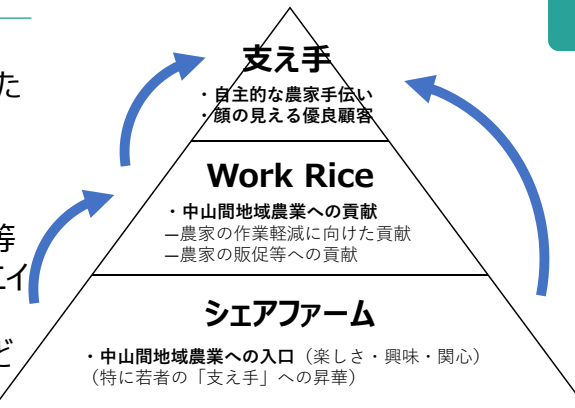
- ◇農作業のサポート：7月末現在、10人日の受入（柏崎市高柳、柏崎市鶴川、十日町市池谷）
- ◇クリエイティブ系のサポート：8月からスタート（小千谷市、上越市清里区）

## シェアファーム

中山間地域農業に関わるすそ野を広げるため、「農家のサポートまではできないが農に関わりたい」という人などを対象に、農業の楽しさ、農村の暮らしの魅力等を共有するとともに、農業に対する基礎的な知識等を学ぶ『シェア・ファーム』を開設。『Work Rice』は米農家をサポートするための本格的な作業なのに対し、『シェア・ファーム』は中山間地域の農に気軽に関われる入口づくりを目的として実施。将来的にはCSA農場としての自立を検討。



- ◇7月末現在14人日の受入（出雲崎町）



### 《支え手像》

- ・次年度以降も農作業等をお手伝いする「支え手」
- ・中山間地域農業を理解し、顔の見える関係のなかで定期的に米を購入する「支え手」
- ・CSA農場の会員としての「支え手」など